INVESTORS GUIDE 2019

KUNIMINE INDUSTRIES CO., LTD.

経営ビジョンの実現に向けて、未来のニーズ創造に積極的に取り組んでまいります。

当社グループは『経世済民』の経営理念を掲げ、貴重な地下資源であるベントナイトを中心に、高付加価値商品やサービスの展開により基幹産業を支え、国の繁栄に貢献してまいりました。これからも『未来のニーズ創造』に向けて、オンリーワン商品の開発やニッチな市場開拓を通じて顧客を創造し、中長期での収益拡大を図ってまいります。

2019年3月期の期末配当につきましては、当社を支えていただいている株主の皆さまのご支援にお応えするため、普通配当を30円に増配いたしました。

今後につきましては、皆さまのご期待にお応えできますよう、さらなる業容の拡大と企業価値の向上に努めてまいります。

株主および投資家の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長　國峯 保彦

Q 2019年3月期の業績と2020年3月期の見通しについて聞かせてください。

当社グループの2019年3月期の業績につきましては、鋳物部門で乗用車をはじめとする自動車国内生産台数が堅調に推移したことや、土木建築部門で復興関連の需要獲得が大きく貢献したことなどにより、売上高は前期比4.9％増の144億6百万円と過去最高額を更新いたしました。一方で、営業利益は主力のベントナイト事業部門が増収増益であったものの、採算性の高いアグリ事業部門および化成品事業部門の減収減益の影響を大きく受けて、グループ全体としては前期比2.7％減の17億40百万円となりました。

2020年3月期の見通しにつきましては、国内経済は緩やかな回復基調が続くと予想されるものの、深刻化する人手不足問題に加えて、中国や新興国などの成長減速による影響や欧米諸国の政策に関する不確実性もあり、決して楽観視できる状況ではございません。

主力事業であるベントナイト事業において、鋳物部門につきましては、引き続きKUNIMINE（THAILAND）CO., LTD.を通じた営業展開により、東南アジア地域での拡販を図ってまいります。

土木建築部門につきましては、東京オリンピック・パラリンピックや中央リニア新幹線をはじめとする各種国内インフラ事業に加え、長期的な需要が見込まれる復興・環境整備関連事業の取り込みを推進してまいります。

アグリ事業につきましては、引き続き省人・省力化に向けた設備投資を積極的に行うことにより、人手不足の解消とコストの低減を図り、顧客満足の向上に繋げてまいります。

化成品事業につきましては、生産設備の増強により供給キャパシティが向上した精製ベントナイト「クニピア」を中心に、今後も海外や先端機能材料分野など、新市場への一層の拡販を図ってまいります。

また、新たな事業機会の創造に向けて社内の知の集積を図り、高収益事業構造を確立して、売上高および利益の確保にグループ一丸となって取り組んでまいります。

Q ESGへの取り組みについて聞かせてください。

当社グループは創業以来一貫して天然資源であるベントナイトを事業の中核とし、環境

負荷の少ない商品を展開してまいりました。したがって、資源に寄り添う経営を通じてきたからこそ、環境保全の重要性について深く認識しております。昨年度は、精製ベントナイトなどの製造・開発を行ういわき事業所で経営理念に基づく「環境方針」を策定し、ISO14001を認証取得するなどの環境保全活動にも取り組んでおります。今後も地球環境の保全および環境保護に取り組み、「持続可能な社会発展」を推進してまいります。

また、人材育成にも注力しております。当社グループの事業展開には経営理念を共有する多彩な人材が不可欠であり、人材山脈の構築こそが事業永続と繁栄につながると考えてきました。この考えを実践すべく、一昨年度より人材教育の専門部署を設けて社員研修を実施しており、参加者は延べ100名を超えました。今後も引き続き、教育に注力し社員一人ひとりの人間性を高めて行き、自主性と自律性に富んだ人材輩出を通じて社会的使命を達成してまいります。

Q 中期経営計画の進捗状況について聞かせてください。

当社グループは、2019年3月期を初年度とする3ヵ年の新たな中期経営計画をスタートしております。2年度目となる2020年3月期は、売上高で157億円、営業利益で17.8億円を見込んでおります。最終年度の目標達成に向けて、基本戦略である「海外市場の展開・拡大」、「国内基盤事業の拡充」、「資源の利用高度化」を着実に進めております。

「海外市場の展開・拡大」につきましては、業績が好調なタイの子会社を通じて、東南アジア地域を中心とした海外市場でシェア拡大を図るとともに、高付加価値品である『クニピア』や『スメクトン』、止水材の『クニシール』などの輸出を拡大してまいります。

「国内基盤事業の拡充」につきましては、復興・環境整備関連事業などの需要は長期的な需要が見込まれているため、これらの獲得に向けた営業活動への注力と生産体制の強化を推進してまいります。

また、アグリ事業部門につきましては、引き続き省人·省力化を図るとともに、多品種少量化が進む委託製造の需要を確実に取り込み、受注拡大を図ってまいります。

「資源の利用高度化」につきましては、当社グループが有する既存の技術・製品の組み合わせと新たな発想により、異分野・異業種へと裾野を拡げてまいります。特に、未来型事業と位置づけるファインケミカル分野につきましては、新用途開発に向けた産学官連携による研究と併せて、先端機能材料分野などの新市場への展開を図ってまいります。

クニミネグループ中期経営計画（2019年3月期～2021年3月期）

中長期的な基本戦略

創業以来70年以上にわたり蓄積した知見と技術を活かし、さらなる高付加価値商品の開発・販売と省人化を主眼に置き、ベントナイト本来の特性を最大限に活かした付加価値商品の開発、高収益化の事業構造を構築する。

基本戦略実現に向けた3ヵ年の取り組み

海外市場の展開・拡大

- 差別化製品、オンリーワン製品を軸とした海外市場での販路開拓
- 高品質原鉱の安定調達に向けた取り組みの強化

国内基盤事業の拡充

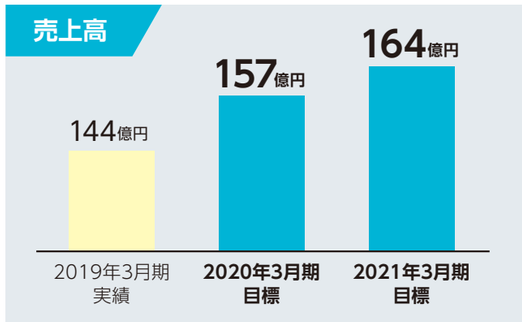
- 国内インフラ整備事業、復興・環境整備関連事業などの取り込み推進
- ITを活用した生産性向上による省人・省力化の実現
- 鉱量の確保、新鉱区開発を見据えた探査と技術開発への注力

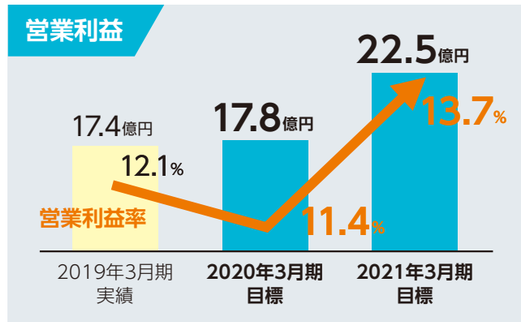
資源の利用高度化

― 資源とシステムを科学し、顧客の創造を図る ―

- 既存技術を応用した新製品開発・新市場への参入
- 新用途開発に向けた産学官連携による研究

直近の実績と中期経営計画目標





トピックス

WEBサイトに会社案内動画を掲載いたしました

当社グループの事業内容をわかりやすく紹介した案内動画を当社WEBサイトに掲載いたしました。今後ともコンテンツの充実を図り、皆さまに役立つ情報を発信してまいります。

■化成品事業：売上高1,316百万円　構成比9.1%

化成品事業では、精製ベントナイト、環境保全処理剤などを製造販売しております。

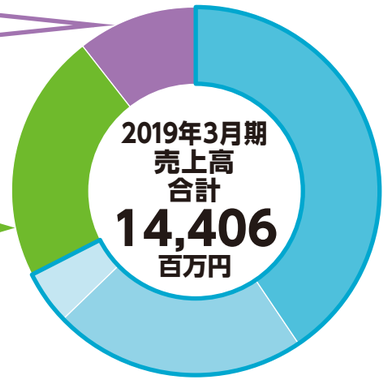
ファインケミカル：化粧品／塗料・インキ／樹脂フィラー／製紙

その他：受託開発／環境保全処理剤

■アグリ事業：売上高2,863百万円　構成比19.9%

アグリ事業では、農薬加工のほか、農薬基剤、農薬加工用原材料、農薬資材、飼料などの製造、加工、販売を行っております。

農業関連：農薬受託加工／農薬キャリアー（基剤）／フロアブル製剤用原料



■ベントナイト事業：売上高10,226百万円　構成比71.0%

ベントナイト事業では、鋳物用、土木建築用、ペット用トイレ砂の製造販売のほか、調泥材の仕入販売および各種研究・分析を行っております。

鋳　物　部　門　売上高5,894百万円　構成比40.9%

鋳物：鋳物生型砂用／鋳物砂分析

土木建築部門　売上高3,645百万円　構成比25.3%

土木建築・ボーリング：土木基礎（遮水を含む）／ボーリング／止水材（シール材）／土壌改良

廃棄物処分：放射性廃棄物処分場／一般廃棄物処分場

ペット関連部門　売上高686百万円　構成比4.8%

ペット関連：ペット用トイレ砂

ベントナイト事業部門

●鋳物部門

第72回世界鋳造会議（World Foundry Congress 2016）に出展

様々な種類のベントナイト

主力商品

- ●クニゲルVAS
- ●クニボンドTY
- ●ネオクニボンド
- ●「クニボンドM」シリーズ
- ●「クニボンドTY」シリーズ

自動車や産業機械の部品となる鋳物を造るための鋳型は、ベントナイトを粘結材とした砂を成型することで造られます。この鋳型は生産性に優れたものであり、多くの鋳物生産に用いられています。

鋳物部門では、ベントナイト製品の販売のみではなく、黒磯研究所での鋳物砂分析などを通じて歩留まりの改善など、お客さまの様々なニーズに応える当社グループ独自のトータルエンジニアリングサービスを提供しています。

今後もKUNIMINE(THAILAND)CO.,LTD.を通じて東南アジアへ進出する日系企業との連携を強め、海外ユーザーへの対応に注力してまいります。

クニミネグループを支えるベントナイト

● ベントナイトとは?

ベントナイトとは、粘土鉱物であるモンモリロナイトを主成分とし、石英や長石などの随伴鉱物を含んでいる弱アルカリ性粘土岩のことを言います。米国ワイオミング州のFort Bentonで発見され、その地名に因んでベントナイトと名付けられました。

ベントナイトは、水を吸収すると膨潤し、さらに分散させると粘性を示します。また、各種陽イオンを吸着できる能力など、様々な特性を持っています。このような特性を有していることから、鋳物、土木建築、ペット用トイレ砂や化成品など、利用される産業分野は非常に多岐にわたっています。そのため、ベントナイトは"1,000の用途を持つ粘土"とも称されています。

● 研究開発に関する基本方針

当社は、"1,000の用途を持つ粘土"と言われるベントナイトの可能性を最大限に引き出し、お客さまの課題解決に向けてお客さまと一緒に考え、その成果をお客さまにとって掛け替えのないオンリーワン商品として提供し続けることをモットーに研究開発を行っております。

ニーズとシーズが多様化する現在において、そのすべてを企業一社で研究することは非効率であり、大きな開発投資リスクも負うことになります。そこで、当社は公的研究機関などと共同研究を行うことにより、潜在ニーズや新たな技術シーズへの取り組みを行っております。また一方では、出口戦略として川下企業との連携を強化しながら、それら新技術にオンリーワン商品としての「かたち」を与える役割を担うことで、win-win-winの関係構築と技術の実用化を図っております。

●土木建築部門

場所打ち杭（アースドリル工法）の現場

2017年２月に国土交通省ＮＥＴＩＳ（New Technology Information System）に登録された「クニシール」

アースドリル工法などの杭基礎の掘削工事時にはベントナイト泥水を使用することにより、粘土分で孔壁に膜を形成し、水の浸透による孔壁崩壊を防止しています。また、ベントナイトの遮水性を活かし、一般廃棄物処分場の遮水工事にベントナイト混合土が用いられているほか、「クニシール」や「クニシート」の止水材が、主に地下構造物の防水材料として使用されています。

放射能汚染廃棄物の処分場向けにおいても、環境負荷が少なくコストパフォーマンスに優れるベントナイトのニーズが高まりつつあります。また、再生可能エネルギーである地熱発電や海底資源掘削向けなどを中心にボーリング需要も増加しています。

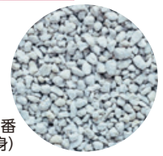
引き続き東京オリンピックなどに向けて進む国内インフラ整備事業への継続的な取り組みに加えて、復興・環境整備関連や地熱発電事業への積極的な営業活動を展開してまいります。また、止水材の「クニシール」は国内をはじめ、海外未開拓市場への積極的な展開も図ってまいります。

主力商品

- ●クニゲルV1
- ●クニゲルV2
- ●クニゲルGT
- ●クニゲルVO
- ●クニゲルGS
- ●クニゲルU
- ●佐渡
- ●「クニシール」シリーズ

●ペット関連部門

猫砂１番


猫砂１番（中身）

飛び散らニャいネコ砂

飛び散らニャいネコ砂（中身）

ベントナイトの高い吸水性と粘結性を利用し、ペットの尿などの排泄物を固め、手軽に処理するペット用トイレ砂は、私たちの最も身近なベントナイト製品です。

ペット業界において日常的な消耗品が多いペットケア用品市場では、消費者ニーズを反映して低価格・高品質なPB品の展開が加速していたこともあり、2016年4月にペット用トイレ砂の仕入販売窓口をクニミネマーケティング㈱に一本化して、効率的な販売体制を構築しました。

今後は自社製品の取り扱いのみではなく、他ペットメーカーや大手小売店とのPB品の開発も進めるなど、お客さまのニーズへの柔軟かつ迅速な対応を図ってまいります。

主力商品

- ペレットタイプ　●消臭剤から生まれたねこ砂　●猫砂1番大粒
- 破砕タイプ　●猫砂1番　●猫砂1番金印　●スーパーQSDX
- 細粒タイプ　●コンパクトサンドDX

事業部門紹介

アグリ事業部門

製剤技術に強みをもつ当社グループでは、農薬加工において薬効成分が放出される速度や量をコントロールする技術などを活かし、国内・海外の農薬メーカーなどから農薬の加工を受注しています。

農薬業界では消費者ニーズの多様化や商品サイクルの短期化に伴い、多品種少量化の流れが加速するとともに、殺虫・殺菌剤と除草剤のクロスコンタミネーション※を防止する管理体制や薬害への対策強化が一層厳しく求められています。

当社グループでは、多品種少量生産とクロスコンタミネーション防止に対応できる体制を構築するとともに、独自の造粒技術に磨きをかけながら、受注を拡大してまいりました。

今後もITなどを活用した省人・省力化への設備投資とともに生産管理体制を強化しながら、顧客満足の向上を目指してまいります。

※クロスコンタミネーション(交叉汚染):製造過程で農薬製品同士が混じり合うこと

自動包装設備

X線検査装置

主力商品

農薬キャリアー(基剤)　●クレー細粒剤　●クニゲルV1　●天竜
フロアブル製剤用原料　●クニピア-F　●クニピア-G　●スメクトン-SA

化成品事業部門

独自の製法により天然ベントナイトを精製した「クニピア」は、保湿性や伸展性、増粘性が向上し、私たちの毎日の生活に欠かせない化粧品・塗料・医薬品などに配合されています。合成技術によってつくり出された「スメクトン」は、高粘性や高チクソ性を発揮する特長を活かし、透明性のある増粘剤や機能性向上剤として、幅広い分野で利用されています。さらに近年は、本来粘土素材がもつ親水性質を有機溶媒にも使用できるよう改質した「親油化スメクトン」も市場から高い評価を得ており、樹脂フィラーなどへ適用幅がさらに広がっています。

また、需要が拡大してきた精製ベントナイトについて生産能力の増強を図り、2019年1月にクニピア第2工場を完成させました。今後も未来事業や技術革新を見据えた積極的な設備投資を行うとともに、未来のニーズ創造に向けた研究開発にも力を注ぎ、海外市場や先端機能材料分野への新たな展開を進めてまいります。

クニピア第2工場

nano tech 2019に出展

主力商品

●「クニピア」シリーズ　●「スメクトン」シリーズ
●「モイストナイト」シリーズ　●環境保全処理剤

事業活動の概況

事業の経過および成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費は緩やかな持ち直しに留まっておりますが、高水準の企業収益や雇用環境の持続的な改善を背景に製造業の設備投資が堅調に推移するなど、景気は緩やかな回復基調でありました。一方、期後半には米中貿易摩擦等の影響から中国経済の減速が鮮明化するなど、世界経済の先行きに不透明感が強まりました。

当社グループにおきましては、主要納入先のうち、鋳物業界は、自動車等の国内生産台数は底堅く推移いたしました。土木建築業界におきましては、東京オリンピック等に向けた国内インフラ整備等が下支えしたほか、復興関連等の需要もあり、全体として堅調に推移いたしました。

このような背景のもと、当社グループは、海外展開を継続して推進するとともに、復興・環境整備関連等の需要の取り込みに注力いたしました。また、人手不足等に伴う原価上昇による影響を抑えるべく省力・省人化への設備導入やコストダウン等の諸施策を行い、売上高および利益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は主力のベントナイト事業部門が増収したことにより、前期比4.9%増の144億6百万円となりましたが、採算性の高いアグリおよび化成品事業部門が低調であったことに加え、設備投資に伴う固定費の上昇等により収益性が悪化したため、経常利益は前期比5.6%減の18億27百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、ふくしま産業復興投資促進特区における税額控除等による法人税等の負担額の減少により、前期比4.7%増の14億2百万円となりました。

ベントナイト事業部門

鋳物関係につきましては、主要納入先の自動車等において、生産台数が堅調に推移するなか、建機等の輸出も回復してきたこと等により、増収となりました。

土木建築関係につきましては、マンション等の民間工事や公共工事向けは底堅かったものの、復興・環境整備関連等の需要を取り込んだこと等により、増収となりました。

ペット関係につきましては、新規納入先の増加等により、増収となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は102億26百万円(前期比10.1%増)となりました。

アグリ事業部門

水稲用除草剤において新規受注が増加したものの、殺虫・殺菌剤の需要の落ち込みを補うことができず、減収となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は28億63百万円(前期比4.7%減)となりました。

化成品事業部門

環境保全処理剤において厳しい競争が続くなか、クニピア等につきましては、塗料・樹脂向けは好調に推移した一方で、一般工業用途での主要納入先における製品構成の変化の影響を受け、減収となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は13億16百万円(前期比8.6%減)となりました。

事業部門別売上高と前期比較

(単位:百万円)

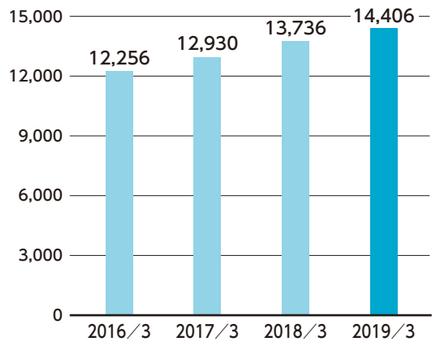
区　分	当連結会計年度売上高	前期比較	
		金　額	比　率
ベントナイト事業	10,226	935	10.1%
アグリ事業	2,863	△ 141	△ 4.7%
化成品事業	1,316	△ 123	△ 8.6%
合　計	14,406	670	4.9%

(注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 前期比較中の△印は、減少であります。

財務ハイライト（連結）

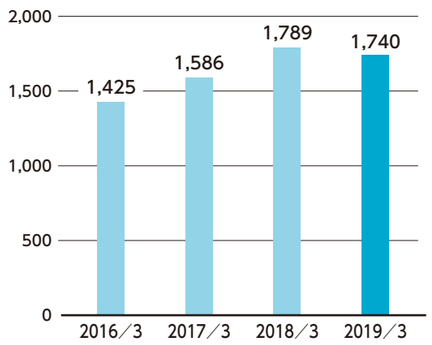
売上高

（単位：百万円）



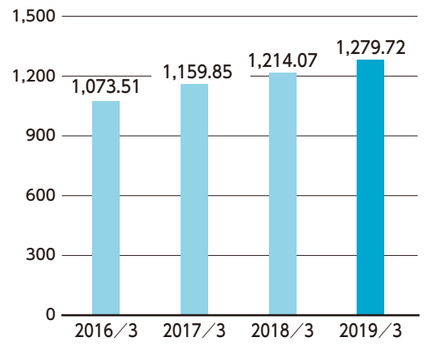
営業利益

（単位：百万円）



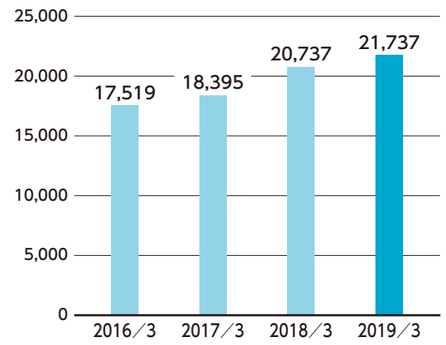
1株当たり純資産額

（単位：円）



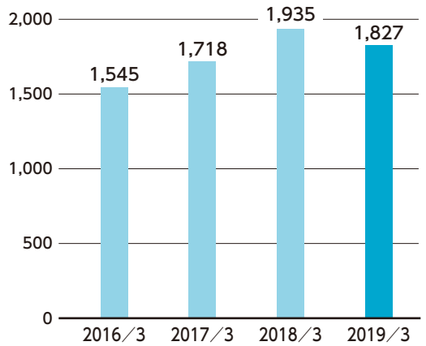
総資産

（単位：百万円）



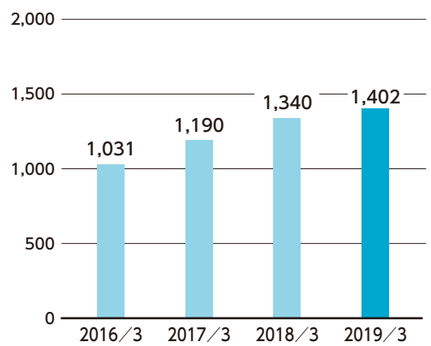
経常利益

（単位：百万円）



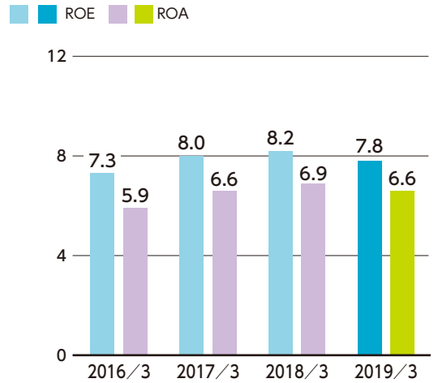
親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）



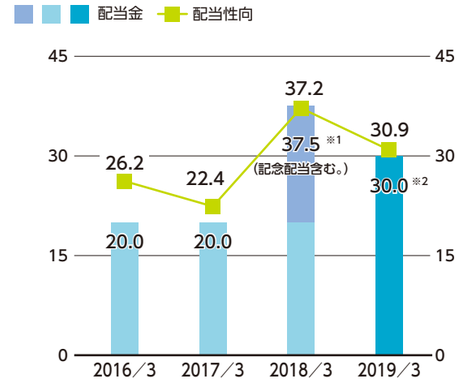
自己資本利益率（ROE）／総資産利益率（ROA）

（単位：%）



配当金／配当性向（連結）

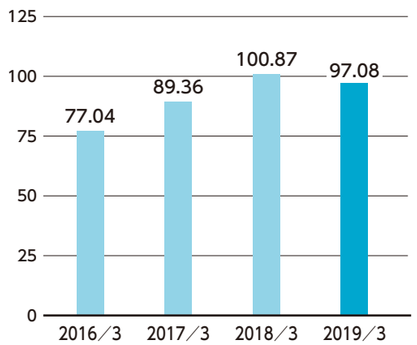
（単位：円／%）



※1 2018年3月期は、東証一部指定記念配当17.5円を含んでおります。
※2 2019年3月期は、普通配当を30円に変更しております。

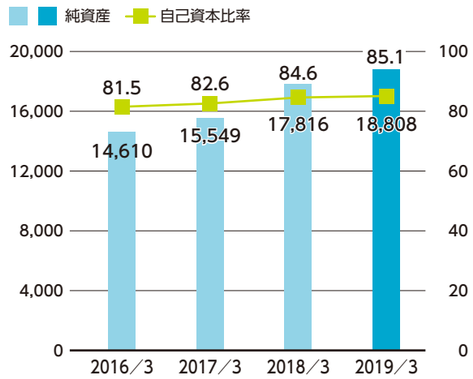
1株当たり当期純利益

（単位：円）



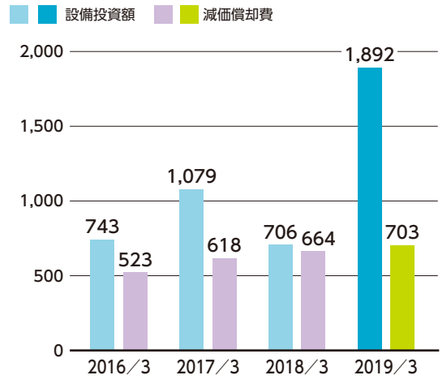
純資産／自己資本比率

（単位：百万円／%）



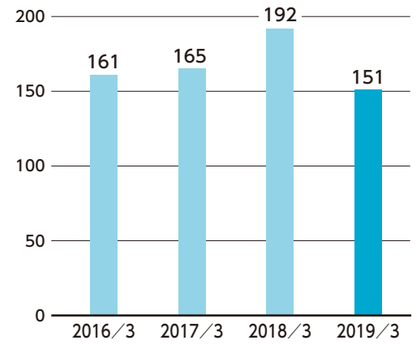
設備投資額／減価償却費

（単位：百万円）



研究開発費

（単位：百万円）



連結財務諸表

連結貸借対照表

POINT1

いわき工場においてクニピア第2工場を新設し、高付加価値品の増産体制を整えました。

POINT2

当社は無借金経営であり、安定した財務体質を維持しています。

(単位:千円)

		2018/3	2019/3
資産の部			
流動資産	現金及び預金	6,050,608	6,118,671
	受取手形及び売掛金	4,487,734	4,718,041
	たな卸資産	1,856,705	1,889,861
	その他	1,388,309	783,094
	流動資産合計	13,783,357	13,509,669
固定資産 ①	有形固定資産	5,079,123	6,247,955
	無形固定資産	71,028	80,180
	投資その他の資産	1,804,076	1,900,065
	固定資産合計	6,954,228	8,228,201
	資産合計	**20,737,586**	**21,737,871**
負債の部			
流動負債	買掛金	716,322	754,315
②	短期借入金	—	—
	その他	1,258,976	1,238,572
	流動負債合計	1,975,298	1,992,888
固定負債 ②	長期借入金	—	—
	閉山費用引当金	520,640	537,024
	その他	425,030	398,967
	固定負債合計	945,671	935,991
	負債合計	**2,920,969**	**2,928,879**
純資産の部			
株主資本	資本金	1,617,800	1,617,800
	資本剰余金	3,672,201	3,672,201
	利益剰余金	11,895,023	12,755,877
	自己株式	△ 548	△ 683
	株主資本合計	17,184,475	18,045,195
その他の包括利益累計額		356,734	444,458
非支配株主持分		275,406	319,337
	純資産合計	**17,816,616**	**18,808,991**
	負債純資産合計	**20,737,586**	**21,737,871**

連結損益計算書

(単位:千円)

		2018/3	2019/3
売上高		13,736,698	14,406,990
売上原価		9,092,756	9,768,029
	売上総利益	**4,643,942**	**4,638,960**
販売費及び一般管理費	販売費及び一般管理費	1,673,642	1,592,887
	発送運賃	1,115,461	1,213,484
	保管費	65,247	92,076
	営業利益	**1,789,590**	**1,740,511**
営業外収益	受取利息及び配当金	153,902	160,131
	その他	20,675	38,288
営業外費用	支払利息	3,695	3,628
	その他	24,987	107,356
	経常利益	**1,935,486**	**1,827,946**
特別利益		1,587	—
特別損失		23,021	21,102
	税金等調整前当期純利益	**1,914,053**	**1,806,843**
法人税、住民税及び事業税		566,212	433,156
法人税等調整額		△ 20,651	△ 77,546
	当期純利益	**1,368,492**	**1,451,233**
	非支配株主に帰属する当期純利益	**28,396**	**48,568**
	親会社株主に帰属する当期純利益	**1,340,096**	**1,402,664**

連結包括利益計算書

(単位:千円)

		2018/3	2019/3
当期純利益		**1,368,492**	**1,451,233**
その他の包括利益	その他有価証券評価差額金	△ 65,288	97,541
	繰延ヘッジ損益	1,428	1,332
	為替換算調整勘定	△ 22,757	△ 15,787
	その他の包括利益合計	**△ 86,617**	**83,086**
包括利益		**1,281,874**	**1,534,319**
(内訳)	親会社株主に係る包括利益	1,259,508	1,490,388
	非支配株主に係る包括利益	22,366	43,931

連結財務諸表

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	2018/3	2019/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,265,824	1,886,994
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 749,535	△ 1,919,123
財務活動によるキャッシュ・フロー	961,652	△ 560,839
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 113,476	45,117
現金及び現金同等物の増加(△減少)額	1,364,465	△ 547,851
現金及び現金同等物の期首残高	5,475,752	6,840,217
現金及び現金同等物の期末残高	6,840,217	6,292,366

連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2018年4月1日期首残高	**1,617,800**	**3,672,201**	**11,895,023**	**△ 548**	**17,184,475**
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 541,810		△ 541,810
親会社株主に帰属する当期純利益			1,402,664		1,402,664
自己株式の取得				△ 134	△ 134
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	−	−	860,854	△ 134	860,719
2019年3月31日期末残高	**1,617,800**	**3,672,201**	**12,755,877**	**△ 683**	**18,045,195**

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
2018年4月1日期首残高	**315,436**	**△ 2,341**	**43,640**	**356,734**	**275,406**	**17,816,616**
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当						△ 541,810
親会社株主に帰属する当期純利益						1,402,664
自己株式の取得						△ 134
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	97,541	1,332	△ 11,150	87,724	43,931	131,655
連結会計年度中の変動額合計	97,541	1,332	△ 11,150	87,724	43,931	992,375
2019年3月31日期末残高	**412,978**	**△ 1,009**	**32,489**	**444,458**	**319,337**	**18,808,991**

株式の状況(2019年3月31日現在)

発行可能株式総数
40,000,000株

発行済株式の総数
14,450,000株

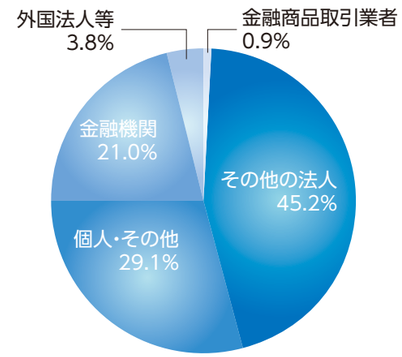
株主数
3,323名

大株主(上位10名)

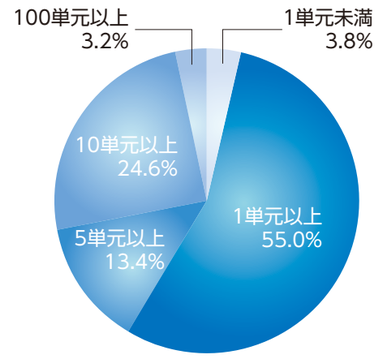
株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
クニミネエンタープライズ株式会社	4,542	31.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	772	5.34
クニミネ工業取引先持株会	643	4.46
株式会社三菱UFJ銀行	465	3.22
日本化薬株式会社	438	3.03
クミアイ化学工業株式会社	329	2.28
ラサ商事株式会社	325	2.25
日本生命保険相互会社	306	2.12
株式会社三井住友銀行	300	2.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	291	2.02

(注) 持株比率は自己株式(1,852株)を控除して計算しております。

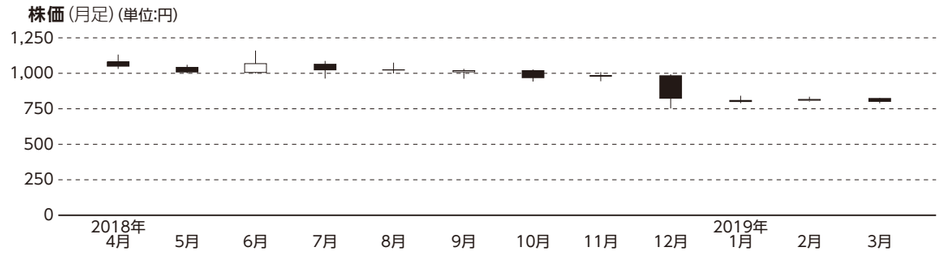
所有者別株式数分布状況

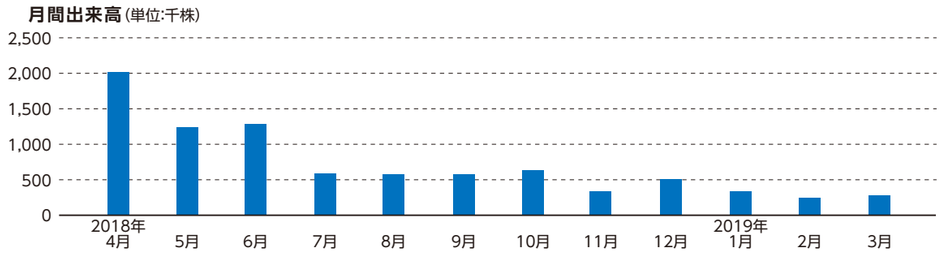


所有数別株主数分布状況



株価・出来高の推移





会社概要／株主メモ（2019年3月31日現在）

会社概要

商　　号　クニミネ工業株式会社
代 表 者　代表取締役社長
　　國　峯　保　彦
本　　社　〒101-0032
　　東京都千代田区岩本町一丁目10番5号
　　03-3866-7251（代表）
設　　立　1943年（昭和18年）6月1日
資 本 金　16億1,780万円
従業員数　211名

会社の主な事業目的

- 鉱業
- 岩石および粘土類の採取、加工ならびに販売
- 無機・有機の工業薬品、農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品の製造・加工ならびに販売
- 食品・食品添加物、飼料・飼料添加物の製造・加工ならびに販売
- 水処理剤・廃汚泥水処理剤および処理装置の製造・販売ならびに施工および運営
- 粉粒体・鋳造・土木用機器装置等に関連するプラントの設計・施工および運営ならびにその機器類および資材の製造販売

役員一覧（2019年6月27日現在）

代表取締役社長	（全般）	國　峯　保　彦
常務取締役	（ベントナイト事業部長、化成品事業部管掌）	木　村　敏　男
取　締　役	（アグリ事業部長）	川　口　祐　司
取　締　役	（経営戦略部長、総務部・採鉱技術部管掌）	黒　坂　恵　一
取　締　役	（資源探査部長）	伊　藤　雅　和
取　締　役	（経理部長）	大　岡　　隆
取　締　役	（常勤監査等委員）	白　石　伸　次
社外取締役	（監査等委員）	伊　藤　　尚
社外取締役	（監査等委員）	堀　越　　孝
社外取締役	（監査等委員）	中　里　猛　志

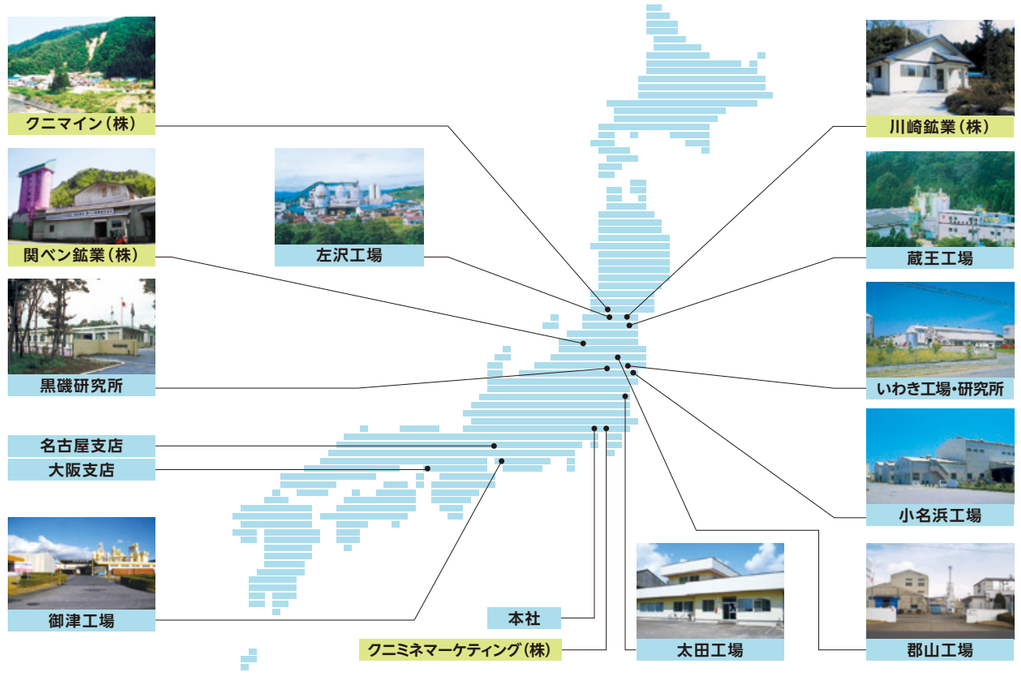
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1−1 電話　0120-232-711（通話料無料） 郵送先　〒137-8081　新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL　http://www.kunimine.co.jp/ （ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。）

（ご注意）
1. 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取り次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ネットワーク／グループ会社（2019年6月27日現在）

ネットワーク



本社
〒101-0032　東京都千代田区岩本町一丁目10番5号（T.M.M.ビル3F）
電話 03-3866-7251（代表）

名古屋支店
〒450-0002　愛知県名古屋市中村区名駅四丁目3番10号（東海ビル5F）
電話 052-587-5232

大阪支店
〒532-0003　大阪府大阪市淀川区宮原四丁目4番64号（新大阪千代田ビル2F）
電話 06-6392-4581

黒磯研究所
〒325-0013　栃木県那須塩原市鍋掛1085番地454
電話 0287-64-1981

いわき工場・研究所
〒972-8312　福島県いわき市常磐下船尾町杭出作23番5号
（常磐鹿島工業団地内）
電話 0246-44-7100

左沢（あてらざわ）工場
〒990-1101　山形県西村山郡大江町大字左沢782番地
電話 0237-62-2255

蔵王工場
〒989-0916　宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字下田6番地
電話 0224-34-2011

御津（みと）工場
〒441-0314　愛知県豊川市御津町御幸浜一号地1番17（御幸浜企業団地内）
電話 0533-76-3107

太田工場
〒313-0008　茨城県常陸太田市増井町字上台166番地
電話 0294-72-2251

小名浜工場
〒971-8184　福島県いわき市泉町黒須野字江越246番7号
（小名浜臨海工業団地内）
電話 0246-56-5890

郡山工場
〒963-0531　福島県郡山市日和田町高倉字榎田2番地1（郡山北部工業団地内）
電話 024-983-9201

グループ会社

クニマイン株式会社（株式100%保有）
ベントナイト原鉱石の採掘、販売
〒990-1271　山形県西村山郡大江町大字月布722番地9号
電話 0237-64-2121

川崎鉱業株式会社（株式100%保有）
ベントナイト原鉱石の採掘、販売
〒989-1502　宮城県柴田郡川崎町大字今宿字上ノ台6番地1号
電話 0224-84-4661

関ベン鉱業株式会社（株式100%保有）
ベントナイトの採掘、製造および販売
〒959-4622　新潟県東蒲原郡阿賀町白崎1573番地
電話 0254-99-2028

クニミネマーケティング株式会社（株式100%保有）
ペット用品の販売など
〒279-0001　千葉県浦安市当代島一丁目1番25号（板徳ビル3F）
電話 047-711-1761

KUNIMINE（THAILAND）CO.,LTD.（株式49%保有）
ベントナイト製品の販売、ベントナイト用途周辺関連商材の販売など
2 Jasmine City Building, 12th floor, Soi Sukhumvit23（Prasarnmitr）,
Klongtoey-Nua,Wattana, Bangkok 10110, Thailand
電話 +66-2-612-7302

TRANS WORLD PROSPECT CORPORATION（株式71.43%保有）
米国ベントナイト採掘会社への出資
2000 West Loop South, Suite 1100,Houston, TX 77027,USA

未来のニーズを創造する
クニミネ工業株式会社

〒101-0032　東京都千代田区岩本町一丁目10番5号　TEL.03-3866-7251（代表）
URL.http://www.kunimine.co.jp/

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK
UD FONT